



ハッピーテラス通信

令和5年3月号

ハッピーテラスキッズ柏ルーム
04-7193-8205

新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。

ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

お知らせ

3月13日より、マスクの着用について**本人と判断が基本とされます。**

ハッピーテラスキッズ柏ルームでは、指導員は今まで通りマスクを着用してトレーニングを実施いたします。

ご理解の程宜しくお願ひ致します。

その他対策等につきましては、教室内掲示物をご確認ください。

2 職員からの推薦図書

題名 「ねこのビート だいすきなしきいくつ」

著者名 エリック・リトワイン

参考価格 1430円 (Amazon)

推薦者 東麻由子（中野ルーツ）



ねこのピートが、新品の白い靴でお出かけ。「白い靴、最高！」と歌って歩き出します。ところが、イチゴの山に登ってしまい、靴は真っ赤に！ピートは悲しんだかというと…？何があっても前向きな姿勢が魅力的なねこのお話です。

3 3月の追加ご利用可能日程

柏ルームでは、今月の空き枠はありません。空きが出次第、順次ご案内いたします。

(記号: ○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

4 療育コラム 「心理社会的発達理論について②」

今回は、前回に引き続き、エリクソンの心理社会的発達理論の中の、幼児後期、学童期、青年期の合計3つについて、ご紹介していきたいと思います。

それでは早速、前回の続きとなる、幼児後期から見ていきましょう。

幼児後期の心理社会的課題は【自発性・積極性VS罪悪感】です。

この時期は、主に幼稚園や保育園などの生活を通して、同世代のお子様との交流を持つ機会が増えていき、ご家庭の外の世界に興味を持ち始める時期です。

ごっこ遊びやおままごとなど、役割を演じる遊びに取り組んだり、自身の興味・関心事を中心に、多くの物事に関しての『なんで?』の部分が気になって、知りたいという気持ちが芽生えてくる時期となります。

そのため、適切に疑問が解消されるたり、遊びを通して幅広い経験が成される事を通して、<目的意識>という力を獲得する事ができます。

一方で、こうしたお子様の自発性や積極性からの行動を厳しく制限したり、問い合わせに対して、ぞんざいに返答するなどの対応が積み重なっていくと、少しずつ罪悪感が高まっていき、その結果、お子様の自発的な行動の妨げとなってしまいます。

続いて、学童期について、見ていきましょう。

学童期の心理社会的課題は【勤勉性（完成）VS劣等感】です。

この時期は、お子様が小学校に通う時期と御伝えすると、イメージしていただきやすいのではないかでしょうか。

小学校に通う時期のため、お子様の主だった生活の場所や関わりの対象が、これまでのご家庭から、学校や同年代の他児童の他者へと移っていくこととなります。また、学習に取り組んで知識を得る機会や、友達と一緒に過ごす時間が増えていく時期となります。

そのため、この時期に同年代の他者と一緒に様々な課題に取り組み、乗り越えていく中で、自身と他者に備わっている能力の差異を自覚し、時に劣等感を感じる事もあるようになります。しかし、この際、負けないように自分も頑張ろう、と奮起し、結果を出す事ができると、有能感の獲得に繋がります。そういう経験から、有能感を得られると自己肯定感の向上にも繋がり、これは今後の生活を営んでいく上で大切な力となります。

最後に、青年期について、見ていきたいと思います。

青年期の心理社会的課題は【アイデンティティ VS アイデンティティの混乱】です。

この時期は、俗に言う思春期です。そのため、様々な葛藤をしながら、自らの生き方や自分は何者であるのか、を模索しながら自己を確立していく時期となります。こうした葛藤を経て、アイデンティティを確立する事ができると、自分自身の価値を信じられるようになり、自分の価値や生き方に貢献し、応えようという忠誠心を得ることとなるでしょう。

一方で、適切に自己が確立されないと、悩み続ける事から抜け出せなくなります。この状態は、アイデンティティの混乱と呼ばれており、青年期の引きこもり問題には、この状態が大きく関わっていると言われています。

いかがでしたでしょうか。

今回も、前回に引き続き、心理社会的発達理論について、お話をさせていただきました。

次回も、続きとなる成人期からお話をしつつ、これまでのお話をまとめていきたいと思います。

それでは、また次回のコラムでお会いしましょう。